



奉納された指画「龍神之図」金持神社をイメージした金と銀の2体の竜

指画

手・指・爪などで描く

指画画家 濱田壽峰さん（根雨出身）が里帰り

筆を一切使わない

珍しい作品の指画

筆を一切使わず手・指・爪などで描く珍しい指画。このほど、指画画家の濱田壽峰さんが、出身である日野町（根雨）に里帰りしました。

濱田さんは、幼少のころから絵画が好きで、本格的に勉強したいと中国で書と画を学び、その後、指画と出会いました。

外国人として初めて中国指画協会に推薦登録され、近年は数多くの個展を開くなど世界中で注目を浴びています。

金持神社に

「龍神之図」を奉納

日野町で展覧会が開かれることにちなみ、8月17日、濱田壽峰さんが、金持神社に作品を奉納しました。

奉納された指画は、金持神社をイメージし、金と銀の竜が雷雲から姿を現した様子を



金持神社に作品を奉納する濱田さん

描いた「龍神之図」で、縦0・65メートル、横約2・5メートルの作品。

濱田さんは全国の神社などに竜を描いた作品を奉納しており、金持神社の2体の竜で25、26体目になります。

神事後には、神社内の壁に飾られました。

濱田さんは「皆さんに福が訪れるよう心を込めて描きました。絵が町の活性化に役立てばうれしいです」と話し、神社宮司の梅林譲さんは「皆さんに見ていただく機会を増やしていきたい。神社の宝として大切に保管します」と話していました。

催しの案内

第2回郷里がえり展

8月21日（木）～24日（日）山村開発センター
午前9時30分～午後5時 最終日は午後3時まで
指画の体験教室

8月22日（金）～23日（土）山村開発センター
午前10時～午前11時

石川光男さん講演会

「個性を生かす指画・個性を生かす町おこし」

8月23日（土）町文化センター
午後1時30分～午後3時

高齢者の安否確認など具体化

郡内郵便局と県、日野郡4町が協定書を交わす

日野郡4町と郡内13郵便局、県日野総合事務所は、7月24日、町役場で「郡内の郵便局員が地域を巡回し、高齢者の安否確認や災害時の異常現象を関係機関に通報する」などの業務を具体化した協定書を締結しました。

このサービスは、4年前に県と郵便局が、相互に協力してさらなる住民サービス・福祉の向上を目指すために協定を締結しましたが、内容が具体的ではありませんでした。



協定書に調印する梅林町長ら

た。今回は、高齢者の情報提供・安否確認、避難所や土砂災害危険箇所図の掲示、災害時における異常現象の通報、ゴミの不法投棄の通報など5項目の細目を定め、協定書を交わしました。

協定式では、郡内郵便局代表の日南郵便局長、日野郡4町長、日野総合事務所長が調印。福田英寿日南郵便局長は「今後も地域の一員として地域を支えていきたい」と話しました。

通報方法や連絡先などを明確にした細目協定書を交わしたのは、県内でも初めてのことです。8月1日から実施されています。